

地ビール等製造業の概況

(平成29年度調査分)

ビール又は発泡酒の製造免許（試験製造免許のみを有する者を除く。）を有している者（平成30年3月31日現在）を対象にアンケート調査（ビール・発泡酒製造業者実態調査）を行い、その集計結果を取りまとめた。

○ 調査対象期間

法人については平成30年1月1日直前終了事業年度分（1事業年度が6か月の場合は2事業年度）、個人については平成29年分とした。

なお、平成27年度及び平成28年度調査対象期間は以下のとおり。

| | 平成27年度調査 | 平成28年度調査 |
|----|--------------------|-------------------|
| 法人 | 平成27年10月1日直前終了事業年度 | 平成29年1月1日直前終了事業年度 |
| 個人 | 平成26年 | 平成28年 |

○ 各表等の注意事項

- (1) 各表の計数は、単位未満を四捨五入しているため、表の内容と計又は合計が一致しない場合がある。
- (2) 単位未満の計数は「0」、該当する計数のない場合は「-」と表示している。
- (3) 各表の計数は、図表10を除き、大手5社（アサヒビール株式会社、オリオンビール株式会社、麒麟麦酒株式会社、サッポロビール株式会社及びサントリービール株式会社）を除いた計数である。
- (4) 各表の計数はビール・発泡酒製造業者実態調査によるものであり、各年度によって必ずしも回答者が同一ではないため、経年比較の計数は参考値である。

平成31年1月

国税庁課税部酒税課

2 ビール製造業

(1) 製造業者数

調査対象であるビールの製造業者数(注1)は167者(うち発泡酒製造も行っている製造業者は87者)、回答者数は156者(回収率93.4%)であり、回答者のうち150者(96.2%)が中小企業者(注2)である。

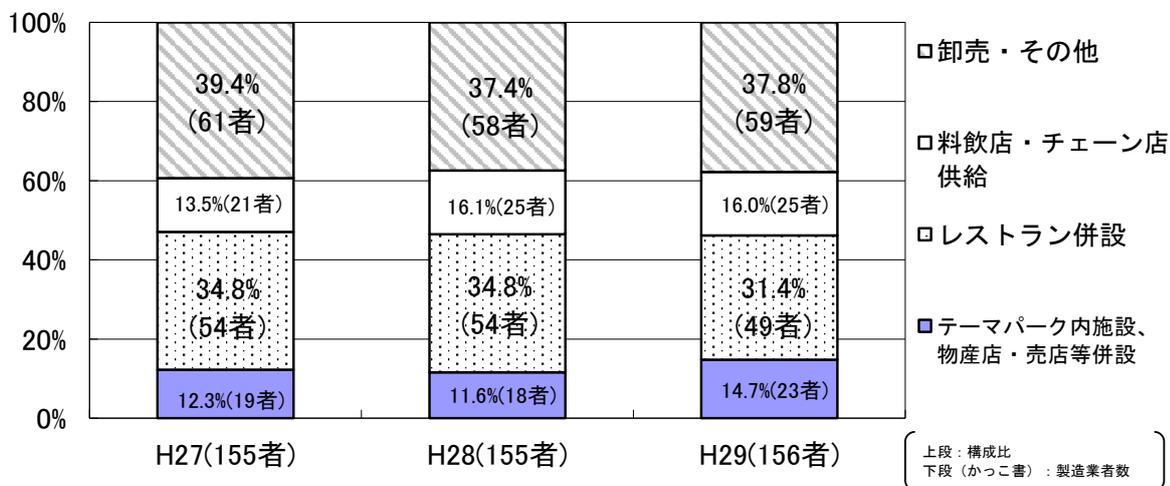
販売形態別では、卸売・その他の形態が59者(37.8%)と最も多く(図表13)、そのうち卸売形態が53者(34.0%)となっている。事業割合別では、ビール事業割合(注3)10%未満の者が54者(34.6%)であり(図表14)、製成数量規模別では100klに満たない者が114者(73.1%)となっている(図表15)。

(注1) 調査対象期間中に、ビールの製造及び移出の事績がない者又はビールの売上がない者については、調査対象者から除いている。

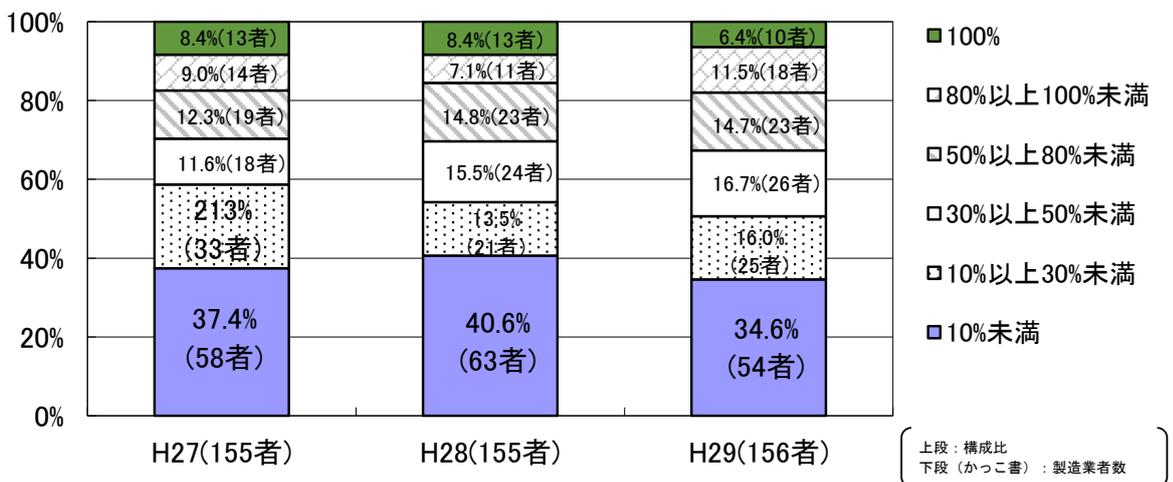
2 資本金3億円以下の法人並びに従業員300人以下の法人及び個人をいう(中小企業基本法第2条第1項第1号)。

3 総売上高のうちビール事業に係る売上高が占める割合である。

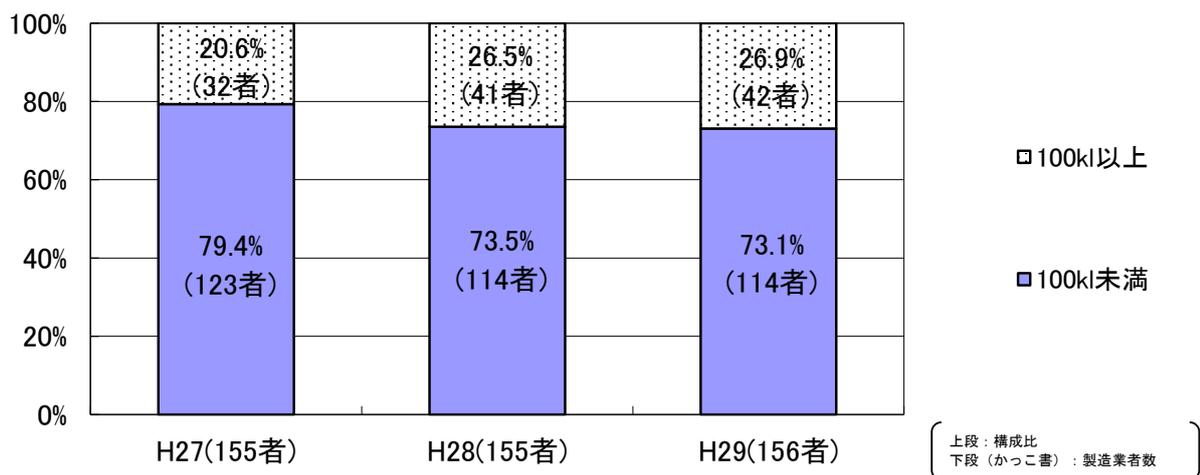
図表13 販売形態別構成比



図表14 ビール事業割合別構成比



図表15 製成数量規模別構成比



(2) 経営状況

ビール事業の売上高は、1者当たり119百万円(回答者合計で18,563百万円)であり、前年度調査(H28)と比較して、1者当たりの売上高が6.1百万円(5.5%)増加している。

営業利益の額は、1者当たり13百万円(回答者合計で2,020百万円)であり、前年度調査(H28)と比較して、1者当たりの営業利益の額が、1百万円(8.6%)増加している。

ビール事業のみ行っている者と発泡酒事業を兼業している者との経営状況を比較すると、発泡酒事業を兼業している者の1者当たりの売上高はビール事業のみ行っている者より77百万円高く、営業利益の額は14百万円高い(図表16)。

図表16 経営状況

(単位: 者、百万円)

| 区分 | 企業数 | 売上高 | 売上総利益 | 営業利益 |
|-------|-----|-------------------|-----------------|-----------------|
| H27 | 155 | (99.1) 15,367 | (39.9) 6,180 | (7.5) 1,162 |
| H28 | 155 | (112.8) 17,491 | (45.0) 6,974 | (11.9) 1,849 |
| H29 | 156 | (119.0) 18,563 | (49.0) 7,648 | (13.0) 2,020 |
| ビールのみ | 74 | (78.4) 5,800 | (30.6) 2,263 | (5.6) 411 |
| 発泡酒兼業 | 82 | (155.6) 12,763 | (65.7) 5,384 | (19.6) 1,609 |

(注)1 ビール事業に係る計数のみ掲げている。

2 かっこ書は1者平均値である。

1者当たり販売形態別の経営状況を前年度調査(H28)と比較すると、レストラン併設を除く販売形態で売上高・営業利益ともに増加している(図表17)。

図表17 1者当たり販売形態別経営状況

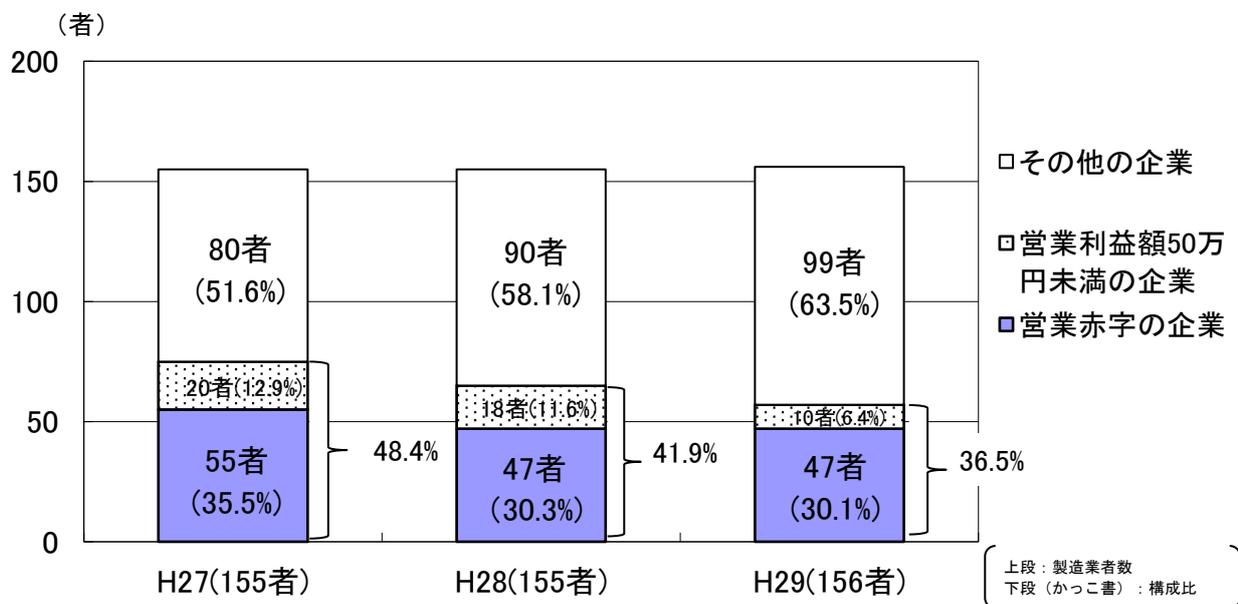
(単位:百万円)

| 区 分 | テーマパーク内施設、物産店・売店等併設 | | | | | レストラン併設 | | | | |
|-------|---------------------|------|--------|-------|--------|---------|-------|--------|-------|--------|
| | H27 | H28 | | H29 | | H27 | H28 | | H29 | |
| | | 対前年比 | 対前年比 | 対前年比 | 対前年比 | | 対前年比 | 対前年比 | | |
| 売上高 | 40.5 | 48.9 | 120.7% | 50.7 | 103.7% | 71.4 | 78.3 | 109.7% | 77.5 | 99.0% |
| 売上総利益 | 18.6 | 26.5 | 142.6% | 30.2 | 113.8% | 39.8 | 41.3 | 103.8% | 39.3 | 95.2% |
| 営業利益 | 6.1 | 5.4 | 88.0% | 6.5 | 120.6% | 11.4 | 16.6 | 145.8% | 14.9 | 89.8% |
| 区 分 | 料飲店・チェーン店供給 | | | | | 卸売・その他 | | | | |
| | H27 | H28 | | H29 | | H27 | H28 | | H29 | |
| | | 対前年比 | 対前年比 | 対前年比 | 対前年比 | | 対前年比 | 対前年比 | | |
| 売上高 | 77.6 | 99.1 | 127.7% | 123.4 | 124.5% | 149.4 | 170.8 | 114.3% | 178.2 | 104.4% |
| 売上総利益 | 26.4 | 38.3 | 145.0% | 53.3 | 139.2% | 51.2 | 57.0 | 111.4% | 62.6 | 109.8% |
| 営業利益 | 4.2 | 5.6 | 134.4% | 15.2 | 269.8% | 5.6 | 12.3 | 219.7% | 12.9 | 104.6% |

(注) ビール事業に係る計数のみ掲げている。

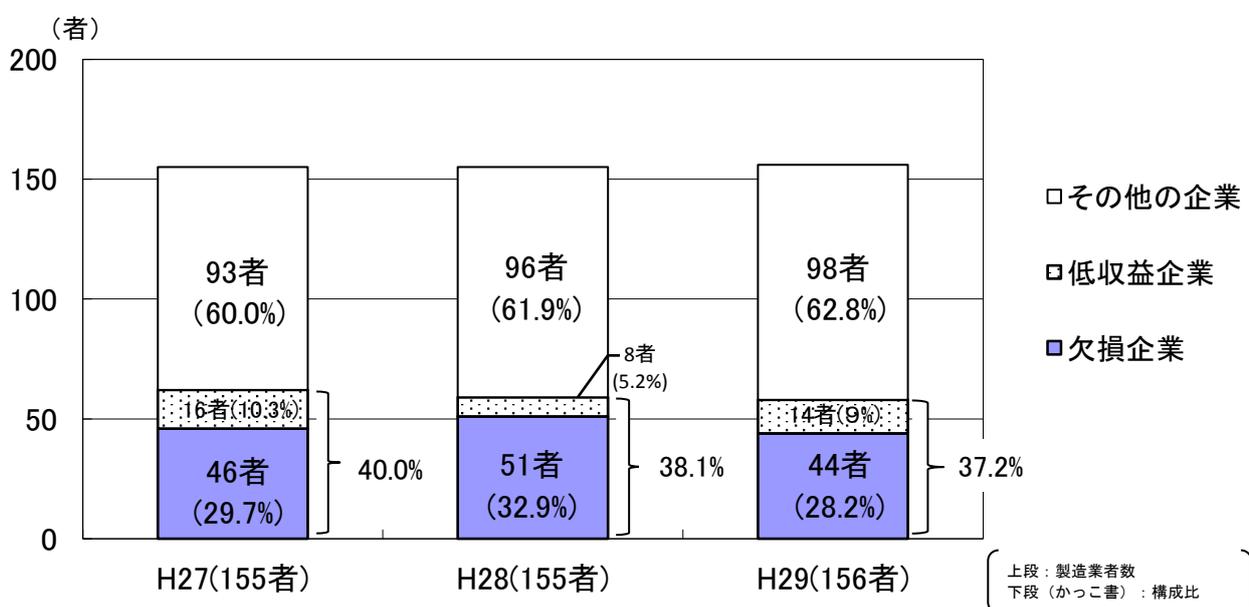
ビール事業に係る営業利益をみると、前年度調査(H28)と比較して、営業赤字となる企業の割合が減少しており、営業利益額50万円未満の企業を含めた割合も減少している(図表18)。

図表18 ビール事業の営業赤字、営業利益額50万円未満及びその他の企業数の推移



企業全体の税引前利益(ビール事業以外の事業を含む。)をみると、前年度調査(H28)と比較して、企業全体に占める欠損企業の割合は減少しており、低収益企業(税引前利益額50万円未満の企業)を含めた割合も減少している(図表19)。

図表19 欠損、低収益及びその他の企業数の推移

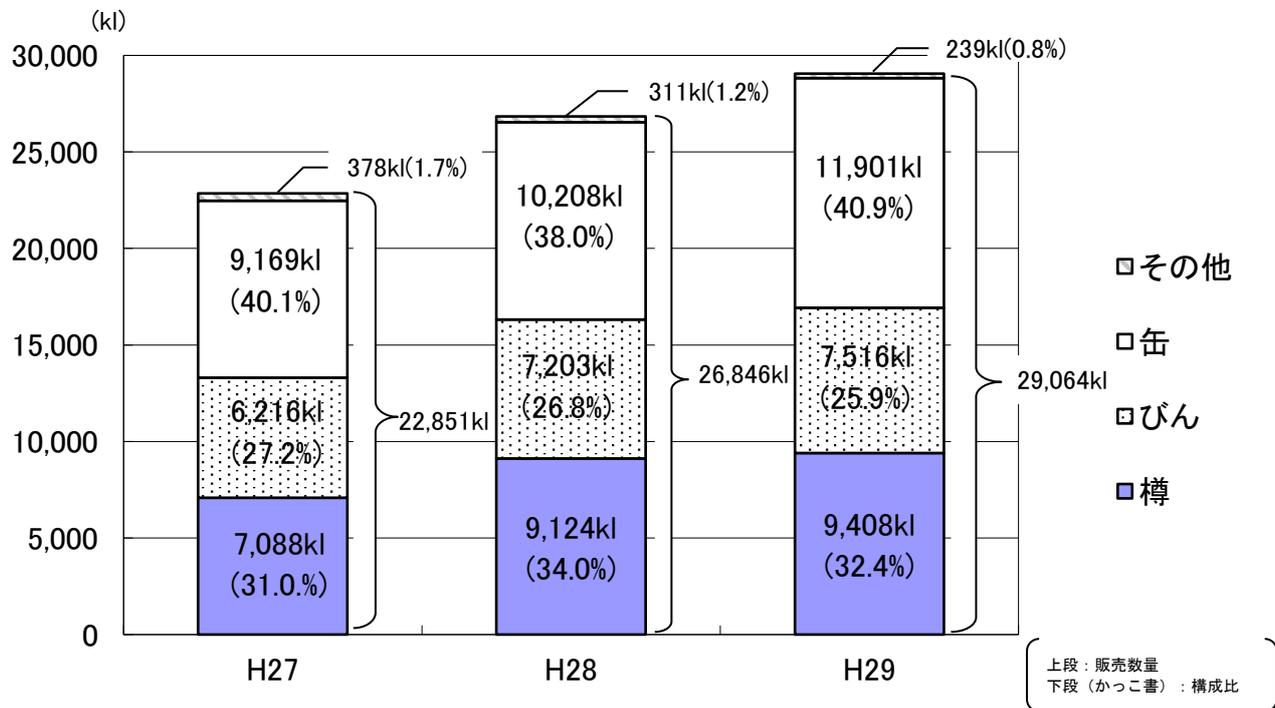


(注) その他の事業部門を含めた事業全体に係る計数である。

(3) 容器別販売状況

容器別の販売状況を見ると、缶製品が全体の40.9%と最も大きい割合を占めている(図表20)。

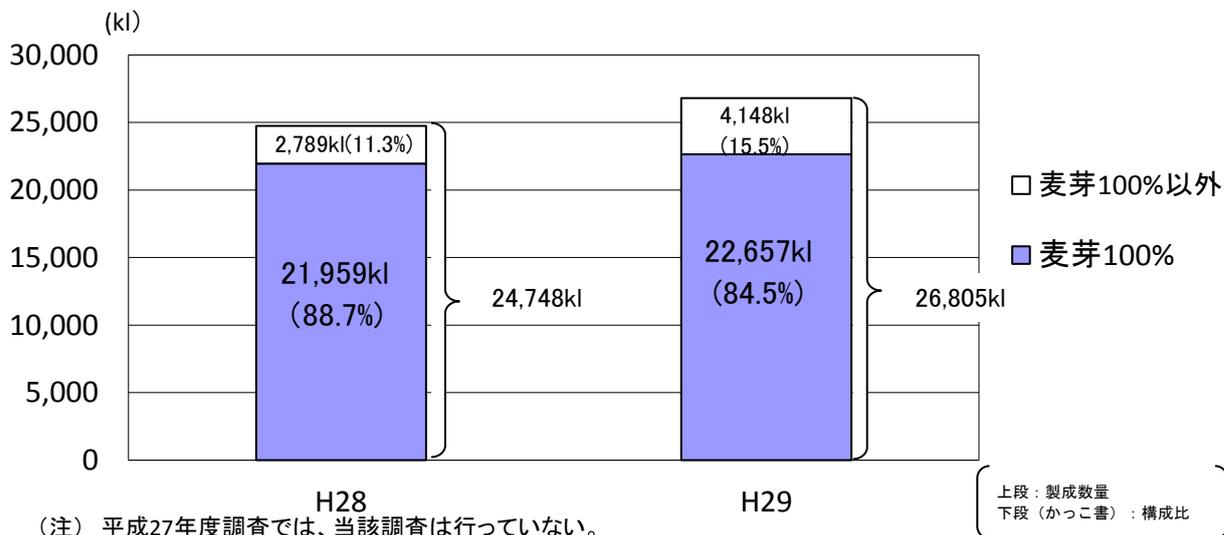
図表20 容器別販売数量



(4) 麦芽比率別製成状況

麦芽比率(原料に占める麦芽の重量の割合)別の製成数量を見ると、麦芽比率100%のビールの割合が84.5%を占めている(図表21)。

図表21 麦芽比率別製成数量

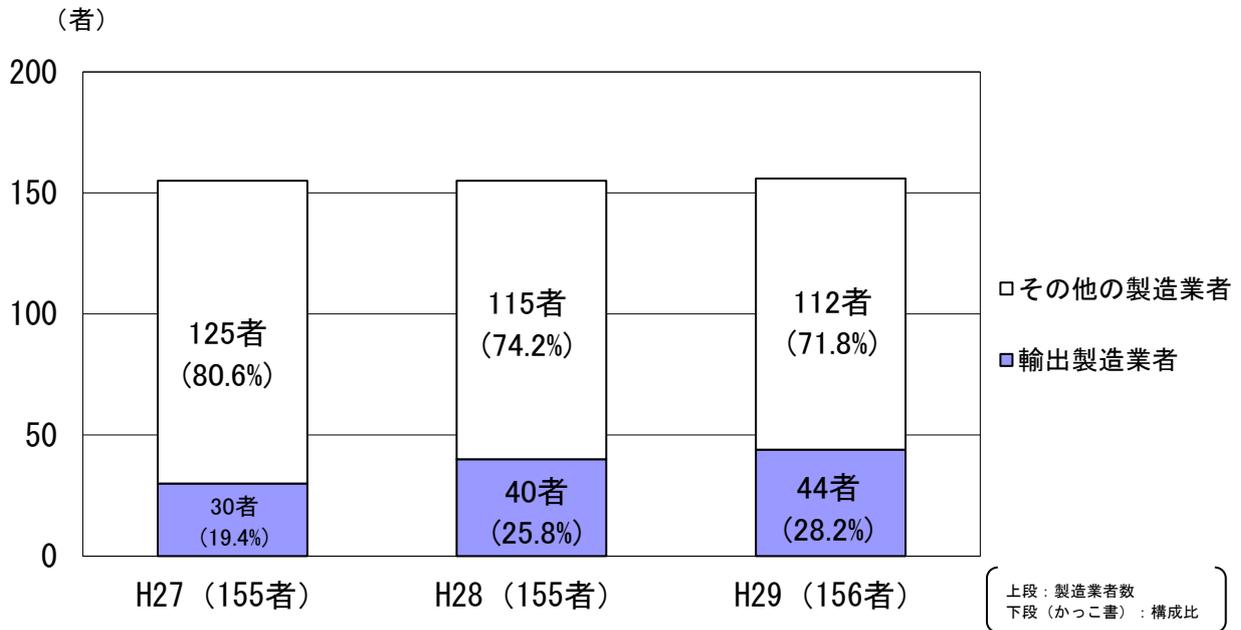


(5) 輸出の状況

輸出製造業者(注)の状況をみると、輸出製造業者数は前年度調査(H28)と比較して、4者増加しており、全体に占める輸出製造業者の割合も2.4%増加している(図表22)。

(注) 回答者のうち、ビールの輸出数量欄に記載があったビール製造業者をいう。

図表22 輸出製造業者とその他の製造業者の推移



ビールの国内販売数量と輸出数量(注)をみると、前年度調査(H28)と比較して、輸出数量は増加しており、輸出数量の割合も0.1%増加している(図表23)。

(注) 輸出製造業者が輸出したビールの合計数量である。

図表23 国内販売数量と輸出数量の推移

